

雑感

初心に還る

わくわく子ども学校を開設してからの10年間、いろいろなことがありました。そんなことがらを「箕面こどもの森学園10年のあゆみ」(創立10周年記念誌)と「こんな学校あったらいいな」(築地書館刊)という2冊の本に書きました。10年経った今、初心に還って、これから先のことを考えてみたいと思います。

『初心』とは、習い始めのころの謙虚で真剣な気持ちのことですが、禅では、初心者の心は空であり、それゆえ、つねにどんなことも受け入れる用意があるといえます。初心者の心には多くの可能性があります。経験を積んで専門家になったとしても、初心を保ち続けることが大切だと教えています。

この学園を始めるとき、『産業社会に適應する人間を育成する教育から人間の自立的な成長を支援する教育へ転換する』ことによって、現在の制度疲労を起こしている教育の間

題を克服し、さらには、民主的で持続可能な社会を創ろう」という学校設立の理念を掲げました。この理念にもとづいて、「市民の手で子どもの主体性を尊重する『こどもが学びの主人公』の学校」を創り、「対話によって民主的で共生的な市民性を育む活動」を行うという二つの目標を立てています。私たちは、その目標をどこまで達成したのだろうか、今後どのように活動を発展させればよいのだろうかということ、今私たちは初心に還って考えなければなりません。まだ達成していない幼年部や中学部の開設のこと、子どもを主体とする教育の内容充実や普及、他の学校や地域との連携、市民性を育むための対話文化を拡げることなど。

この次の10年間も初心者の心をもって、みなさんとともに一歩一歩進んでいきたいと思っています。本年もご支援のほど、よろしくお願ひ致します。(辻 正矩)

各種イベントのお知らせ (1月~3月)

これからの子育て・教育を考えるフォーラム

多様な教育の存在・活動を多くの皆様に知ってもらうことを目指すフォーラムです。

精神科医、明橋大二さんの講演の他、多様な教育の実践者によるパネルトークや、参加者の皆さんが参加できる座談会、グループディスカッションなどが企画されています。

【日時】2014年1月13日 13:00~16:30

【会場】大阪府立大学 I-Site なんば2F

【参加費】大人1,000円 学生500円

【主催】おたるネット、大阪府立大学大学院

【申込】http://kokucheese.com/event/index/128846/

無料体験入学のお知らせ

一斉授業でも、詰め込み教育でもない、箕面こどもの森学園の授業が、無料で1日体験できます。

【日時】2月24日~28日の中の1日

【時間】9:00~15:00(水曜日は9:00~12:00)

【対象】年長児~小学5年生までの方

【参加費】無料(事前申し込みが必要)

【申込】3日前までに電話またはFAXで学園の事務局へお申込みください。

教育カフェ・マラソンの予定

第16回:2014年1月17日(金)19:00~

『新年会:全員が話題提供者』

【会場】ごま屋 ちゅう兵衛 LABI 千里店 (豊中市新千里東町1-2-20 LABI 千里4F)

【会費】3000円

第17回:2014年2月14日(金)

植月千砂さん(アースガーデン・パーマカルチャー)

第18回:2014年3月 未定

第19回:2014年4月4日(金)

石井美保さん(京都大学人文科学研究所)

♪♪ロハス in こどもの森♪♪ ~ゆっくり暮らしていきましょうや~

この春もロハス・フェスタを開催します。あわただしい日常生活からちょっと離れて、ゆったりとした時間を味わいませんか?ロハスな軽食、フェアトレードの雑貨や手作りする販売などがあります。紙芝居、折り紙教室など、子どもの楽しめるイベントも多数。皆様のお越しをお待ちしています。参加費無料。

【日時】3月15日(土)10:00~15:00

【場所】箕面こどもの森学園

【主催】ロハス in こどもの森 実行委員会

イエローシート・キャンペーン

毎月11日に、運営委員の有志が箕面イオン店に出かけています。この日にお客さんからレシートを集めると、イオンから領収書の1%の金額がキャンペーンに参加した団体に寄付されるので、こどもの森学園にとって、教材購入の貴重な財源になるからです。各月11日のお買物の際は、是非ともご協力をお願いします。(松崎)

こんな学校に出会いたかった!!

♪♪箕面こどもの森学園生徒募集♪♪

子どもたちの主体的な学びを支援するオールタナティブ・スクールです。興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育やイエナプラン教育などの考えと方法を取り入れています。

募集人数:10名程度

対象年齢:6~11歳(小学5年生まで)

場所:箕面市小野原西6丁目15-31

見学:随時(ご相談の上で日程を決めます)

体験入学:見学の後、学校の平常の授業を5日間体験していただきます。

入学面接:ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方はご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676



アクセス:阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

明けましておめでとうございます。昨秋、学園は創立10周年を祝いましたが、これまで、この通信は少しずつ姿を変えながら、学園のその時々歩みを皆様にお伝えし、記録してきました。これからの新たな10年も、学園の活動や、子どもたちの様子をお伝えしていきます。

皆様の学園への変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願ひいたします。(沼尾)



海洋センターでのキャンプ

キャンプで府立青少年海洋センターに行きました。10月中旬だというのに、海の中に入れたのは僥倖でした。海の水を呼び込む水路を作ったり、砂を掘って海水が出てきたり、打ち上げられた木などを使って家作り、やどかりを見つけたり、子どもたちは、変幻自在に楽しむ遊びの天才です!!

メインイベントの野外炊さんは、4グループ分かれてヨーイ・スタート。みんなで協力してごちそうができて上がり。いただきます!! 「こうして食べると21人きょうだい」という子どもたちからの声も。

ごはんの後は花火。繊細な線香花火から花火大会を思わすダイナミックなものまで、子どもたちから歓声が上がりました。みんなで風呂にも入って・・・みんなと一緒に!

翌日は、カッターに乗りました。センターのお兄さんのていねいな説明。子どもたちから出た「かもめ~!」の掛け声でグイグイこぎだしました。一人ひとりの力がカッターを進ませているのを感じとれたのでは。子どもたちはお泊まりという、ふだんとは違う濃密な時間を過ごし、何か印象に残ったことがあればうれしいです。(北出)



オープンスクール

11月9日(土)、多くの方にご参加いただき、こどもの森のオープンスクールを開催しました。受付や学校案内は学園の子どもたちが担当しましたが、参加者のみなさんから子どもたちの説明がとてもステキだったというお声をたくさんいただきました。

授業体験は、木工、手芸、クッキング。

学園の子どもたちが、学習のサポート役をやってくれました。体験の子どもたちも、それぞれの体験を楽しんでくれたようです。こどもの森学園の活動紹介は、受付と案内係だった子どもたちが担当してくれました。大勢の大人の方たちが注目しておられる中で、学園のことをスライドで一息懸命に紹介し、参加者からの質問にも落ち着いて答える子どもたちを頼もしく感じました。

最後は、参加された大人の方と、在校生の保護者、スタッフとの座談会。いろいろなことをざっくばらんに話できるなごやかな会となりました。

多くの方が、この学校に関心をもってくれていること、この学校を支えてくださっていることを感じた一日でした。(藤田)



在校生による学校紹介



クッキングの授業体験

フリーマーケットを開催!

12月5日、修学旅行の資金集めのために高学年がフリーマーケットを開きました。

朝から、みのお市民活動センターの前には多くの商品が並びました。準備が終わり開店すると、店番・チラシ配り・休憩でグループごとに時間を区切って動きます。店番の人は声を出し、お店を元気いっぱい雰囲気にして、チラシ配りの人は手分けしてチラシを配りました。休憩の人はご飯を食べたりして休みつつ、食べ終わったらお手伝いをしたりして、積極的に参加していました。お昼頃には人通りも増え、低学年が見学に来た頃にはとくににぎわいを見せ、早くも売り上げが1万円を超えました。

行日:2014年1月10日
発行者:NPO法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail kodomomori@nifty.com
URL http://kodomono-mori.com/

最後の半額セールの際にはかなりの商品がなくなっていました。低学年も高学年もスタッフも、ほしい商品を買っていて、みんなでお店を活発にしていたようでした。



学校外の人に接して販売するという貴重な体験でした。(佐野)

未来のくらしフェア

テーマ学習「くらしとエネルギー」の集大成として、それぞれが未来のくらしに思いをよせて考えた作品を発表する「未来のくらしフェア」を開催し、たくさんの方が見に来てくれました。

6年生の男の子は、守りたい自然の朝日、飼っている犬の笑顔、放射能回収機(空気からだけでなく、地面からも回収するしくみになっている)を発表しました。

未来のエコハウスも提案がたくさん。太陽光パネル、雨水の利用、風力発電などなど、いろいろな工夫が満載でした。未来の電話の説明を漫画で描いた5年生の男の子の作品は、とてもストーリーがユニークでした。

履いて歩くと発電するあったかブーツと、雨水利用の標語を考えた人や、アルミでできたロボットがゴミを回収し、太陽光発電などで充電しながら自動で動く「アルミン」を考えた人など、いろんな発表がありました。

子どもたちの未来のくらしにつなげていってほしいと思います。(守安)



自由作文・テーマ作文の紹介

バレーの合同練習

かりん(4年)

日曜日、特別にバレエのレッスンをしました。土曜日は2時15分からだけ日曜日は2時からです。一番最初に、ストレッチをしました。なぜかという、ストレッチをしないと骨を折るからです。足を振るストレッチや足を開くストレッチでは、足を先生に押されて足の骨がゴキゴキ言って痛かったです。

次に床を綺麗に拭きました。なぜ床を拭くのかというと、床が滑るので滑らないように水でよく拭いて始めます。バレレッスンは、バーを持って色々なレッスンをします。1時間バレレッスンをしたら、今度はおどりのけいこをします。その日は20人いたので、一番最初から先生も出る発表会の練習をしました。みんな大人クラスも入っておどりました。そのうち一人はこのバレエクラスの先生のむすめで、きれいに歩くところをふつうに歩いていたのでおもしろかったです。

最後の20分は見るだけで何もしませんでした。いっぱいおどって汗をかいてストレッチ発散できたので、バレエを好きになってよかったです。

プロジェクト作品の紹介

ビー玉転がしゲーム 伝説版

るい(5年)

すぐ終わらないように、長く作ってみました。作って見たら案外上手にできました。木の板をつける位置を工夫しました。

【やり方】

- ① ビー玉をスタートに置きます。
- ② 木の板を持って左右にひっくりかえすように操作してビー玉をゴールまで転がします。
- ③ ゴールまで行ったら、伝説に残った人と書いてある板に自分の名前を書いてください。

【ここがおすすめ!】板を動かすのが楽しいよ♪



心があたたかくなるのはどんなとき?

こころ(3年)

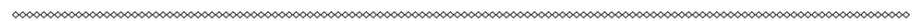
心があたたかくなるのは、あったかことばを言われたり、みんなといたらうれしくなる。ぎゅくにしんせつにしたら、しんせつにした人もしんせつにされた人も心があたたかくなると思う。

たん生日パーティをするといったら、友だちがいそいで家にかえって持ってきてくれて、おたん生日プレゼントをもらうときに「おたん生日おめでとう」っていわれて、みんなでいっしょにあそんでおやつをたべてとっても心があたたかくなった。みんなかえったら、ちょっとさみしくなった。でもその日はずっと心があたたかかった。

しんせつにして「ありがとう」っていわれたらすごいきもちがはれる。でも、しんせつしてやめてっておこられたら、つめたいきもちになる。心ってあたたかくなるとうれしいけど、心てむずかしい。

キャンプでみた夢のこと

ひーこ(5年)



マイケル・ジャクソンの服

のあ(1年)

どうしてつくったかって、マイケルが好きだからです。つくりかたのせつめいをします。ぼうしとふくとズボンをつくりました。ぼうしはダンボールをきってぬのをはりました。

ふくは、かたがみをにおいてぬのをきりました。そして、ミシンでぬいました。スパンコールをつけました。ズボンはきってミシンでぬってゴムをとおしました。そしてうらがえしました。ゴムをとおすばしょがむすかしかったです。



学校のみんなで道のあるいていたら、ティラノサウルスがでてきて、みんなでにげた。「ひーこ」と「だいき」と「まさし」と「こゆっきー」は、1cmぐらいの大きさになり、みちのかどにかくれた!すると、「こゆっきー」がもとの大きさになって、「きょうりゅうさ〜ん、こゆきとひーこだいきとまさしはここにいるよ〜」と言ったので、きょうりゅうにばれてにげた。

森の中ににげこむときょうりゅうはいなくなり、みんなと会えてよかった〜と思った。

《在校生の声》

この学校のいいところ

さくら(5年生)

この学校のいいところはいっぱいあります。でもその中で、とくにいいと思うところを紹介します。一つ目は、全校集会の終わりのときにおかしが食べられることで、週に1回なので楽しみです。二つ目は、いつでもトイレに行けることです。公立の学校ではトイレに行ける時間が決まっているので、なんで決まっているのかふしぎでした。でもこの学校では決まっていなくていいな〜と思いました。最後に、この学校では自分で考えたりみんなで考えたりして学校をつくっていくので、この学校に来てよかったな〜と思っています。

《卒業生だより》

小学6年間の中で一番楽しい年間でした!

閑野 早紀(2012年度卒業)

私は5年生の3月から子どもの森に入っていたので、卒業生の中では一番短いですが、私の小学校6年間の中で一番楽しい年間でした。

今、私は聖母被昇天学院で勉強しています。中一の最初らへんはしんどいこともあったけれど、今はとても楽しいです(勉強以外は)。クラブは自然科学部に所属していてウサギやその他生物の世話、ピオトープを作ったり畑をしています。

私の周りには、今でも個性豊かな人達がたくさんいるので、今は楽しく学校に行っています(時々しんどくなったりもしますが…)。

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 9月~12月

『こんな学校あったらいいな』が好評発売中!

箕面こどもの森学園の10年の歩みが一冊の本になりました。この本には、子どもの主体性を育てる学習プログラム、協力して行動する子どもたちの様子、学園誕生の経緯、そして学園の目指す教育へ取り組む大人たちの奮闘などが綴られています(第1章 子どもが学びの主人公:第2章 子どもの夢を育てる:第3章 私たちの学校づくり:第4章 教育から社会を変える)。

子育て真っ最中の方、教職課程で学ぶ方、今の教育に違和感を

もっておられる方、自分たちで学校を創りたいと思っている方などに、おススメの本です。

著者:辻正矩、藤田美保、守安あゆみ、中尾有里。築地書館から出版。定価1600円(税別) / 全186頁。



学園でも売っていますので、どうかお買い求めください。詳しくは学園ホームページをご覧ください。(辻)

《スタッフのつぶやき》

どっとドット

かのスティーブ・ジョブズがスタンフォード大学の卒業式にて行ったスピーチの中に、「未来に先回りして点と点をつなげてみることはできない。現在の点が、とにかくあなた方の未来に繋がるということを信じるのです」という一節があります。

これにあてはめて考えてみると、この学校には子どもたちが直感にしたがって本当にしたいことを探すための「たくさん点」が用意されていることに気づきます。

ある日の昼休み、ホールにて。子どもたちが創作したというとても不思議な世界観をもった劇をみせてもらいました。新鮮な感性で溢れているこの学校の子子どもたちがどんな点と点を結んでいくのだろう・・・と、わくわくしながらもやわらかい気持ちで子どもたちを見つめてしまうのでした。(大北)

みのお NPO フェスタ報告

9月15日(日)から9月21日(土)にかけて「みのお NPO フェスタ 2013」が、みのお市民活動センターでありました。箕面市を中心に活動している様々な NPO 団体が年に一度集まって自分たちの活動を広く知ってもらい、参加を呼びかけるというイベントです。今年の参加は30団体でした。いろんな体験講座やパフォーマンスがありましたが、こどもの森学園は例年通りパネル展示で参加しました。

初日は、10周年記念ということで「かやのさんべい橋」が新たに会場に加わり、ゆるキャラの滝の道ゆずる君も参加して、台風接近の雨風にもめげず、通行中の人たちに私たちの活動をアピールすることができました。(芳仲た)

感謝と笑顔の

10周年記念式典&パーティー!

10月19日。学園には、会員、保護者、来賓、卒業生、在校生、スタッフなど約70名の方が集まりました。壁には手作りのプログラムや子どもたちの作品、10年間の写真を展示。式典では学園長や来賓に続き、3人の子どもたちが素敵なメッセージを披露してくれました。

そしていよいよパーティー。美味しいランチを食べながら出し物を楽しみます。クイズで10年を振り返り、子どもたちの歌で癒され、保護者の会による出し物で大合唱!子どもたちが「修学旅行とお泊りの費用を集める!」と用意したピーズや飲み物のお店も大盛況。卒業生によるこどもの森クイズは大いに盛り上がり、会場は温かい雰囲気になりました。

最後は実行委員のサプライズ。いろいろな出逢いがこどもの森を創ってきたことへの感謝の気持ちを「糸」という歌にこめて、みんなでパフォーマンスしました。たくさんの想いが合わさり、またとない、温かく感謝と笑顔に溢れた一日でした。(中尾)



教育カフェ・マラソン第12~15回

- 第12回: 9/13(金) 水谷綾さん (大阪ボランティア協会事務長)
- 第13回: 10/11(金) 徳谷章子さん (ハートフレンド代表理事)
- 第14回: 11/15(金) 田辺克之さん (神戸フリースクール代表)
- 第15回: 12/13(金) 永橋為介さん (立命館大学准教授)

毎月1回、こんな個性的な話題提供者に心揺さぶられ、それぞれの教育のありようを問い返す日々。贅沢なほどの充実ぶりです! 毎月ライブに行って魂の洗濯をしているような、参加者の相互作用で盛り上がりつつある。もういっそのこと『教育カフェライブ』にしちゃおうか(笑)、っていうくらい『教育カフェマラソン』。このペースであと7年ほどやりますんで、皆様よろしくです!(西江)

「いのち紡ぐわたしたち」に出店

11月3日(日)、四天王寺の境内で開かれたイベント「いのち紡ぐわたしたち」に出店参加しました。健康食品、手作り雑貨、天然素材の洗剤や化粧品、木の家具のお店、食べ物の屋さんなどロハスなお店がズラリ。

私たちのブースに来られた方たちに、こどもの森のオープンスクールや無料体験入学などのことをお知らせすると、ぜひ行ってみたいと言われた方もありました。このように新しい出会いの場となるステキなイベントでした。(辻)

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を!

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会会費 3,000 円)
- ◆賛助会員になる (年会会費 3,000 円)
- ◆資金・資材を寄付する
- ◆情報・労力を提供する

振込先: 加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園  
<郵便払込> 00980-7-232403  
<郵便口座振込> 14020-68190721  
<銀行振込>  
ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072  
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。  
TEL&FAX 072-735-7676  
URL kodomomori@nifty.com